

富士見町防災士連絡会 主催

防災 講演会

日頃から備えておきたい
住民の身近な防災活動



H30年 台風24号に伴う災害で、鉢巻道路に土砂が流入した様子

日時

令和7年

11/16(日)

会場

町民センター
体育室

午後1時30分開演（午後1時開場）

入場無料

講師

公益社団法人

ピースボート災害支援センター

せきね

まさたか

関根 正孝 氏

東日本大震災をはじめ2024年能登半島地震など、国内の被災地にて避難所の運営やコミュニティ支援、ボランティアのコーディネートなど、被災者ニーズに沿った支援活動に従事。防災・減災教育プログラム担当も務め、全国各地で研修・講演を実施している。



- ◆ 自主防災会、防災士としてどんなことをすればよいのか？
- ◆ 子ども連れて避難所で本当に過ごせるのだろうか…
- ◆ 大雨が降っているけれど、いつどこに避難すればいいの？
- ◆ 被災地で本当に困ったことって何だろう？

こんな疑問や不安を持ったことはありませんか？
自分の日頃からの活動、災害が起きた時の活動を一緒に考えてみませんか？
どなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。

申込方法

参加を希望される方は、11月10日（金）までに
お電話 または QRコード、URLのいずれかからお申込みください

富士見町役場
防災・危機管理係
☎ 0266-62-9326



<https://logoform.jp/form/gyhs/1219192>

富士見町 防災士連絡会 のご紹介

「防災士」とは、**自助 共助 協働** を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。

「地域の防災力」を高めることは、災害時において非常に重要であり、住民の一番身近な地域での防災活動は自分のいのち、大切な人のいのちを守ることに繋がります。

町では、地域の防災力向上を図るため、令和2年度より富士見町防災士育成事業を実施しており、自主防災会長の推薦のあった方で、自主防災会にて継続的な防災活動を実施いただける防災士の方の資格取得支援、活動支援を行っています。

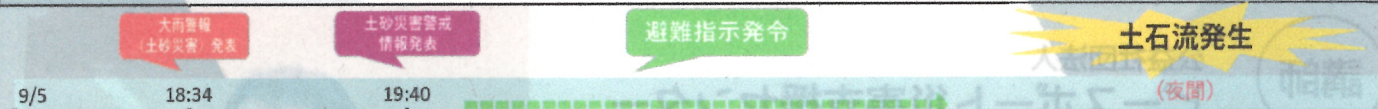
各地区自主防災会でご活動いただいている防災士の皆様が、一つのネットワークとして繋がり活動しているものが「**富士見町 防災士連絡会**」です。

富士見町 防災士連絡会では、各地区の防災活動の情報共有、防災士・自主防災会のスキルアップ研修などの活動を通し、各地区の自主防災会の活動を充実し、地域の防災力向上のため活動をしていきます。

地域防災の重要性

地域で助け合った結果、助かったいのちがあります(茅野市)

- 令和3年9月5日、茅野市下馬沢川において、複数の民家が巻き込まれる土石流災害が発生。
- 地域では**例年避難訓練を実施**し、災害への意識を高めていたことに加え、**避難指示発令後**、防災無線により避難を呼びかけた。また、地区役員等が住民に直接声をかけて回り、住民の多くが**事前に避難して人的被害は無かった**。



地域における平時の取組み



地区の多くの住民が避難

【被害状況】

人的被害: なし

全壊: 3

床上浸水: 4 床下浸水: 29

非住家: 52



防災アプリ

「ふじみ防災行政ナビ (ライフビジョン)」

気象情報や、町の防災情報を配信しています

ダウンロードして
備えましょう

その疑問 このアプリで情報収集できます

2日間ずっと雨が
降り続けている・・・
今富士見町は危ない状況なの？
どのくらい雨は降っているのだろう
避難した方がいいの？

3日後に台風が接近するそうだ・・・
もしも土砂災害が起こったら・・・
自分の家は土砂災害の危険はあるの？
もし避難するとしたらどこが避難所？

